



平成 22 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 テ ラ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 矢 崎 雄 一 郎
(コード番号：2191)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 山 本 龍 平
T E L 0 3 - 6 2 7 2 - 6 4 7 7

東京ミッドタウンクリニックにおいて、「アイマックスがん治療」の 技術・ノウハウ提供を開始

当社（東京都千代田区、代表取締役社長：矢崎 雄一郎、資本金：4 億 634 万円）は、平成 22 年 3 月 11 日より、医療法人社団 アドバンストメディスン（東京都港区、理事長：田口 淳一）が運営する東京ミッドタウン先端医療研究所に対して、樹状細胞ワクチン療法^{*1}を中心とする当社独自のがん治療技術・ノウハウ「アイマックスがん治療（免疫最大化がん治療：Immune maximizing therapy for cancer）」の提供を開始いたします。本件は、当社にとって東京都における 3 ヶ所目の技術・ノウハウ提供となり、また、同先端医療研究所は、東京ミッドタウンクリニック内において「アイマックスがん治療」を専門に実施する医療機関として、がん患者を対象に治療を行います。

「アイマックスがん治療」とは、樹状細胞ワクチン療法を中心として、これに化学療法（がん休眠療法^{*2}）および放射線療法（低侵襲放射線療法^{*3}）等を組み合わせることで、患者の免疫機能を最適化・最大化させて効率よくがんを攻撃することを目指す、当社独自のがん治療技術・ノウハウです。

本件の技術・ノウハウ提供開始は、「マイルストーン開示に係る事業計画」（平成22年12月期～平成24年12月期）で公表している契約医療機関の開拓計画（関東地区5月）を前倒して、3月に実施するものでありますが、業績への影響は軽微であります。

以 上

※1：樹状細胞ワクチン療法

本来、血液中に数少ない樹状細胞（体内に侵入した異物を攻撃する役割を持つリンパ球に対して、攻撃指令を与える司令塔のような細胞）を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの特徴を持つ物質（がん抗原）の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球ががん細胞のみを狙って攻撃する新しいがん免疫療法。いわゆる「がんワクチン療法」のひとつであり、自己の細胞を用いるため、副作用はほとんどないと言われています。

※2：がん休眠療法

低用量の抗がん剤を継続的に投与することで、患者の免疫力を低下させずに、がんの増殖を抑制する療法をいいます。「制御性 T 細胞（がんを攻撃する免疫を抑えてしまう悪玉免疫細胞）」の増殖を抑える働きも報告されています。

※3：低侵襲放射線療法

IMRT（強度変調放射線治療：専用のコンピュータを用いて、複数のビームを組み合わせて放射線に強弱をつけることで、高い精度でがんの部分だけに集中して照射する方法）専用の放射線装置を用いることで、がん細胞のみを攻撃する放射線療法。がん細胞の周囲にある正常細胞を傷つけることが少ないため、体への負担が少なく（低侵襲）、免疫力を下げない療法と言われています。